

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和4年9月号 No.184

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

第73回全国労働衛生週間(10月1日~7日)

あなたの健康があってこそ 笑顔があふれる健康職場

昭和25年から毎年実施され今年で第73回を迎える全国労働衛生週間は、9月1日から30日までを準備期間とし、10月1日から7日まで全国一斉に実施されます。

愛知県内における令和3年の休業4日以上の上業務上疾病者数は、前年638人の約1.5倍に及ぶ939人となりました。

この最も大きな要因は、新型コロナウイルス感染症の職場における感染拡大です。同感染症を含む「病原体による疾病」は、前年195人の約2.9倍に及ぶ560人となり、うち2人は死亡に至るものとなりました。また、幅広い業種・年齢層で多発している災害性腰痛も、前年274人から294人へと増加しており、業務上疾病増加の一因となっています。

こうした状況を踏まえ、愛知労働局においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を令和4年度における重点課題に位置付け、他の課題である科学物質・粉じんによる健康障害防止対策、石綿による健康障害防止対策、受動喫煙対策、事務所棟における労働衛生対策等とともに推進が図られています。

また、令和4年度の新たな重点課題として「労働者の心身の健康確保のための総合的対策」が策定されました。労働者の心身の健康確保を図るためには、労働安全衛生法令に基づく健康診断、長時間労働面接指導、ストレスチェック等の健康確保措置や、THP指針、メンタルヘルズ指針等の健康保持増進措置を、単発的でなく相互連携させて推進することが不可欠として、その推進・定着を図るものです。

一方、安全分野で「安全経営あいち」を提唱し、リスクアセスメントを通じてPQCDsMEを一体的、戦略的に管理する経営手法を推進しており、同じく総合的な視点による全体的な管理向上を目指すものであります。

各事業場におかれましても全国労働衛生週間の実施について周知いただくとともに、これを契機として事業場における自主的な労働衛生管理活動の定着に向けて積極的な取り組みをお願いします。

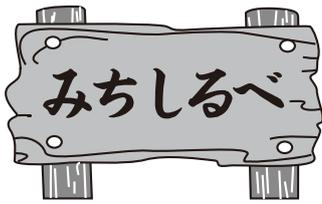
実施者の実施事項

労働衛生水準のより一層の向上及び労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の定着を目指して、各事業場においては、事業者及び労働者が連携・協力しつつ、次の事項を実施する。

全国労働衛生週間中に実施する事項

- ア 事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視
- イ 労働衛生旗の掲揚及びスローガン等の掲示
- ウ 労働衛生に関する優良職場、功績者等の表彰
- エ 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症等による事故等緊急時の災害を想定した実地訓練等の実施
- オ 労働衛生に関する講習会・見学会等の開催、作文・写真・標語等の掲示、その他労働衛生の意識高揚のための行事等の実施

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを



物流業界の2024年問題

名古屋港木材産業協同組合
理事長 服部 伸一

言うまでもありませんが、西部港木材団地に立地する企業にとってトラックを利用した荷物の運送は非常に重要です。各社においても運賃は人件費と並び主要な経費となっている事と思います。

【物流業界の2024年問題とは】

働き方改革関連法によって2024年4月1日以降、自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されます。このことによって発生する問題の総称を2024年問題といいます。特に長時間労働が問題となっているトラックドライバーの時間外労働に上限を設け、労働条件を改善しなければならないという趣旨です。

物流業界で働くドライバーの約45%が40歳～54歳と高齢化が進んでおり、人手不足はさらに深刻化することが予想される中、労働環境の改善は待ったなしですが、960時間の制限ができると1日に運ぶことができる荷物の量は減少します。また2023年4月から全ての企業で月60時間以上の時間外労働に対し賃金の割増率が25%～50%に変更されることもあり、現行の運賃では経営が難しいだけでなく、トラック自体が不足し、木材や建材に関しても従来の物流のあり方が成りたたなくなると危惧されます。

【行政による取り組み】

IT技術を活用した様々な取り組みが試されていますが、国土交通省では民間と共同で「トラックの隊列運行」の実証実験を進めています。隊列運行とは先頭車両のみ、有人で運転走行をし、後継の複数の車両（例えば2台のトラック）は電子制御で一定の車間を取り無人化するというシステムです。これにより1人のドライバーによって複数のトラックの運転が可能となり、省人化が図れます。特に新東名や新名神などでは実用化に向けた実験が進んでいます。

【私たち荷主の取り組み】

私たち木材建材業者の日常業務においても、出来ることはいくつかあります。

トラック運転者の労働時間には積荷や荷下ろしの手待ち時間も含まれます。建築現場や取引先の倉庫でスムーズに積込みや荷下ろしを行い、伝票の受け渡しをデータ化する等、ドライバーを無駄に待たせる時間を減らすことは重要です。

【300キロ圏内での物流の重要性】

時間外労働時間が制限された場合、実際にハンドルを握れる時間はせいぜい5～6時間が限度となり、走行できる距離はざっくりと300キロ程度となります。したがって今後はこの走行範囲において物流を伴う商圏形成が効率の観点から理想的だと言えます。

私たちの立地する西部臨海工業地域では名二環の全面開通に加え、新東名や新名神により高速道路の多重化が進み、渋滞回避がある程度可能になっており、「運行の時間管理がしやすい物流の拠点」としての利便性は高まっていくと考えます。

恭子のワーキングライフ

◆ 合縁木縁 ◆

“ 77 回目の夏 ”

「 家庭菜園 」

長崎は1945年（昭和20年）8月9日午前11時2分の原爆投下から“77回目の夏”の原爆の日を迎えました。

爆心地に近い長崎市松山町の平和公園では「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」が営まれ犠牲者のご冥福を祈りました。式典にはロシアのウクライナ侵攻により核兵器使用への危機感が強まる中、米国や中国などの核保有6カ国を含む過去最多となる83カ国・地域の代表者が参列しました。

私は2000年（平成12年）3月16日長崎県を訪問し、「(財)長崎原爆被災者協議会」事務局で被爆者の谷口稜嘩（すみてる）氏に面談の機会を得て、それ以来親交を深めていただいております。谷口氏は16歳の時、郵便配達中に原爆の熱線中被爆し背中一面赤く焼けた「赤い背中の少年」、被爆後20回以上も皮膚移植手術を繰り返したがケロイドと手術痕の背中は完治することはなく、被爆後遺症に苦しみながら自らの体験談をもとに「長崎を最後の被爆地に」との切実な思いで、世界中の核兵器廃絶を訴え長崎原爆投下の真実を伝える活動をされました。2005年8月9日にはNHKスペシャル被爆60年企画「赤い背中～原爆を背負い続けた60年」で特集が放送され、2010年ニューヨークの国連本部で開かれた核拡散防止条約（NPT）再検討会議では被爆者代表として「核兵器は人間と共存できない」と訴えられました。そして被爆者の思いを発信し続け2017年8月30日に88歳の生涯を閉じました。在りし日のお姿を偲び同年12月9日、ご親族皆様と長崎市内の谷口家墓前に手を合わせ、ご冥福をお祈り申し上げました。

さて、原爆投下から“77回目の夏”に、被爆者 故谷口稜嘩氏にスポットを当て、長崎市でのロケ撮影で足跡を辿り平和へのメッセージを紐解いていくドキュメンタリー映画「長崎の郵便配達」（川瀬美香監督、英語版日本語字幕付き）が8月5日から全国公開されました。

コロナ禍で制作が幾度も中断し、制作開始から6年経ち遂に公開を迎えた映画で、当地区では「伏見ミリオン座」などで上映されました。大型スクリーンからは、長崎の景観地「稲佐山展望台」から一望できる街並み、「烏岩神社」の200段の石段を上る風景。そして長崎のお盆の伝統行事「精霊流し」の精霊船を曳く様子などが紹介され、そこに生前の谷口稜嘩氏のご活躍やご家族の人柄が伝わる映像が加わり、感慨深い気持ちになりました。

原案は元英国空軍大佐のジャーナリスト 故ピーター・タウンゼンド氏が、1982年に谷口稜嘩氏を長崎で取材して1985年に出版した「ナガサキの郵便配達」（早川書房出版）です。“77回目の夏”に、映画館で映し出された故谷口稜嘩氏の面影に書籍を手渡された時の思い出が甦ってきました。

毎年GW頃から自宅の庭で家庭菜園をしておりません。特にコロナ禍となってからは外出する機会が減り自宅にいる事が増えた為、庭にいる時間も増えました。

栽培する野菜はほぼ毎年同じ種類ですが、二種類ほどは変えて楽しんでおります。今年はミニトマト、ナス、キュウリ、赤唐辛子、ブルーベリー、ピーナッツを育てております。

どの野菜も苗はホームセンターで購入することができ、簡単に育てられます。そして、収穫量も多く、野菜に使う費用を節約する事にもなります。特にミニトマトは成長が早く毎日収穫できるため、家族ではとても食べきれないので人にあげたりしています。

欠かさず水やりが必要となり、毎朝水やりをする事が日課となっております。夏に野菜を育てているため、菜園はとにかく蚊が多くて困ります。

気温が35度以上になると蚊も元気がなくなるのか、あまり刺されなくなります。

蚊の予防対策としては、長袖・長ズボンで身を守るのが一番で、虫よけや、殺虫剤を使うことも有効です。

最近では虫害に悩んでおり、特にコガネムシが多く、ブルーベリーやイチゴ、オリーブの葉を食べます。対処法は虫を駆除する事が有効なので、牛乳パックに虫を落として殺虫剤で駆除しております。葉に付いているコガネムシは手ですぐ取れるので対処はしやすいです。

しかし、虫の駆除だけでは食べられてしまうので、予防も大切です。防虫ネットをかけたり、木酢液を散布したりします。また、土の中に幼虫がいるので、土を掘り起こして駆除しております。

世界的に気候変動が激しく、ここ名古屋でも例外ではありません。今年は梅雨明けが早く、雨が少ないのかと思えば大雨が降るし、気温も高いので、野菜を育てるには厳しい環境となっております。私自身も熱中症に気をつけながら作業をし、しっかり水分をとり、ファン付きの衣類を着て対策をしております。皆様も熱中症にはお気をつけください。

今回は、江口木材株式会社 江口 真永氏にお願いいたします。

木の日の事業 名古屋木材青壮年会

親子木工教室開催

日時：令和4年10月8日(土)・9日(日)
9:00~16:00

開催場所：戸田川緑地

参加費：1,000円(税込)

【実施企画】

・木工キット販売と組み立て体験

- ① ツール
- ② ティッシュボックス
- ③ ラウンドチェア
- ④ スライド本立て
- ⑤ 小物入れ

(時間を区切った形式では行わず、随時受付)

- ・体験イベント(小さな家、丸太切り、年輪数えなど)
- ・木やSDGsにまつわるクイズ、ウッドブロックの配布



ぜひご家族で
ご参加ください!



主催及び問い合わせ先

名古屋木材青壮年会 TEL.(052) 331-9386

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

自転車盗に注意!

蟹江警察署管内では鍵をかけていない自転車の盗難が多発しています。

駅や店舗の駐輪場だけでなく、自宅敷地内やマンション駐輪場に鍵をかけずにとめていた自転車も盗まれています。

被害に遭わないために

- ・短時間でも必ず鍵をかける
- ・自宅に自転車をとめる時も鍵をかける
- ・ワイヤー錠等を使い、二つ以上の鍵をかける「ツーロック」を行うようにしましょう。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

集塵装置の省電力・安全 ご提案します!!

木質バイオマスの利活用

■バグフィルター集塵機	■破砕機 ウッドグラインダー	■木質ペレット製造装置
■サイクロン集塵機	■粉砕機 ファンシュレッター	■ブリケット
■定量排出装置	■火花探知器・安全装置	■送排風機
■トラック積載装置	■異物除去器	■ダクト部品

INOUE 井上電設株式会社

快適な環境づくりに取り組む
TEL 052-322-5271 <https://www.inoue-d.co.jp>

KMEW

TOTAL COORDINATE

屋根材 外壁材 雨とい

ケイミューの外装材

ケイミューが培ってきた
技術と経験で、
屋根・壁・雨といを
トータルにご提案します。

ケイミュー株式会社 【本社】〒540-6013 大阪府大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー 13F
ケイミューは「バナソニック」とクボタが出資している両社のグループ会社です。

お客様ご相談窓口 0570-005-611 ●受付時間：月～金9:00～17:00

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 服部伸一
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会